

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	グローバル選抜探究	英語	英語	7
教科書・教材				
『PROGRESS IN ENGLISH 21 REVISED BOOK1』 株式会社エデック				
『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book 1 WORK BOOK』 株式会社エデック				
『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book1 音声アプリ』 株式会社エデック				
『トモリンクス デキタス』 株式会社コニカミノルタ				
『NEW CROWN 1』 株式会社三省堂				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>週5時間は『PROGRESS IN ENGLISH』を用いて、授業を行う。日常生活について、様々な場面における会話から心情や要点を理解できるようにする。また、LC やアクティビティを通じて、対話や協働で理解を深め、登場した表現を使えるようにする。家庭では『音声アプリ』や『トモリンクス デキタス』を使い、音読の量を増やしたり、既習事項の定着を図ったりするとともに、個別最適化を目指す。習熟度別クラスとする。</p> <p>さらに週2時間はプログラミング・音楽・家庭のイマージョン教育を行う(※イマージョン教育のシラバスを参照)。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Lesson 1 自己紹介・挨拶 [Be 動詞]
	Lesson 2 物の描写 [指示代名詞・疑問詞 (what)・形容詞]
	Lesson 3 物や人の説明 [複数形・所有格・疑問詞 (who)・指示代名詞]
	Lesson 4 ペットや人物の紹介 [現在形 (一般動詞)]
	Lesson 5 どこにあるかを伝える [前置詞]
	Lesson 6 命令・勧誘 [命令文]
2 学期	Lesson 7 習慣について述べる [3 単現]
	Lesson 8 身の回りの数量[疑問詞 (how many / when / where)]
	Lesson 9 今、何をしているかを伝える [現在進行形・代名詞の目的格]
	Lesson 1 0 何をしたかを伝える [過去形 (規則動詞)]
3 学期	Lesson 1 1 何が起きたかを伝える [過去形 (不規則動詞)]
	Lesson 1 2 どこで何があったかを伝える [過去進行形]
	Lesson 1 3 予定、意図や予測を伝える [未来形]
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備 考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	グローバル選抜探究	英語	英語(イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ループ・変数・条件分岐・関数などの基本的なコーディング概念を学ぶ。LC を通して対話や協働で理解を深める。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。</p> <p>楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。</p> <p>調理手順を理解することができる。また、簡単な調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 1 コードの取り出し方と検索方法 (コーディングと MEE) Unit 2 シーケンス概念 (チャットコマンドのコーディング) 楽器を活用した学習① (音楽の知識) 簡単な日常食の作製 (簡単な朝食作り)
2 学期	Unit 3 ループを使用したコードの繰り返しを避ける方法 (ループのコード) Unit 4 デバッグを学んでのトラブルシューティング (変数の作成) Unit 5 プログラムへの意思決定を追加 (If ステートメント) 英語の楽曲 (英語の単語や楽曲の背景知識) 簡単な日常食の作製 (エコクッキング～材料を無駄なく使う工夫)
3 学期	Unit 6 プログラミングでの関数を使用するタイミング (関数の概念) 楽器を活用した学習② (音楽の特徴や背景知識) 簡単な日常食の作製 (小麦粉を使った世界の菓子作り)
評価方法	
課題、授業への取り組み姿勢や製作品 (30%) により評価を行う。	
備考	
ループリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	未来探究	英語	英語	6
教科書・教材				
『NEW CROWN 1』三省堂 『新中学問題集 標準編 中学1年』教育開発出版 『トモリンクス デキタス』株式会社コニカミノルタ				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>6時間のうち、3時間は『NEW CROWN 1』を用いて、TT(ティームティーチング)で音読活動を徹底し、英語の音声に慣れ親しみながら語彙・語法・文法を身につけさせる。特に動詞の基礎的な使い方について理解させる。演習としてデキタスを用いて、個別最適化学習も進めていく。3時間は『NEW CROWN』の進度に合わせて『新中学問題集』を用いながら、取り扱う文法・表現を使った文を、書くことや話すことができるようにする。更に、会話を通して異文化に対する興味・関心を高める。LC やアクティビティを通じて、対話や協働で理解を深め、登場した表現を使えるようにする。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>アルファベット (大文字・小文字) を正しく覚え、英単語が正しく書けるようになる。be 動詞や一般動詞を用いて、平叙文・疑問文・否定文が作れるようになり、自分のことを伝えることができる。疑問詞 what を用いて文章を作り、それに答えることができる。(Lesson 1 About Me)</p> <p>助動詞 can を用いて、自分だけではなく、他の人ができることを伝えたり、聞いたりすることができる。また、英語で月名や数字を言うことができる。(Lesson 2 My Hero)</p> <p>疑問詞 what・who などを用いて、文章を作り、それに答えることができる。更に、相手に指示を出すことができる。(Lesson 3 My Treasure)</p>
2 学期	<p>動詞の過去形について学び、自分が過去にしたことを伝えることができる。want を用いて、自分のしたいことを伝えることができる。(Lesson 4 My Summer Plans)</p> <p>動詞の三人称単数形について学び、第三者のことを伝えたり、質問したりすることができる。(Lesson 5 Ms. Brown's Family)</p> <p>現在進行形について学び、誰かが行っている動作について伝えたり、質問したりすることができる。(Lesson 6 School Life in the U.S.A.)</p> <p>他の人のことについて、過去のことを伝えたり、質問したりすることができる。(Lesson 7 Athletes with Spirit)</p>
3 学期	<p>be 動詞の過去形や過去進行形を用いて表現することができる。(Lesson 8 Discover Japan)</p> <p>未来のことを言うことができる。(Lesson 9 Emergency Food)</p>
評価方法	
<p>定期考査、小テスト、課題プリント、発表、授業時の取り組み及びその姿勢などにより評価する。 (定期考査より 70%・平常点 30%)</p>	
備考	
<p>ルーブリックによる評価も含む。</p>	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	グローバル選抜探究	英語	英語	9
教科書・教材				
『PROGRESS IN ENGLISH 21 REVISED BOOK1・2』 株式会社エデック				
『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book 1・2 WORK BOOK』 株式会社エデック				
『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book1・2 音声アプリ』 株式会社エデック				
『トモリンクス デキタス』 株式会社コニカミノルタ				
『NEW CROWN 2』 株式会社三省堂				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>週7時間は『PROGRESS IN ENGLISH』を用いて、授業を行う。日常生活について、様々な場面における会話から心情や要点を理解できるようにする。また、LC やアクティビティを通じて、対話や協働で理解を深め、登場した表現を使えるようにする。家庭では『音声アプリ』や『トモリンクス デキタス』を使い、音読の量を増やしながら、既習事項の定着を図るとともに、個別最適化を目指す。習熟度別クラスとする。</p> <p>さらに週2時間はプログラミング・音楽・家庭のイマージョン教育を行う(※イマージョン教育のシラバスを参照)。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>[BOOK1]</p> <p>Lesson 1 4 提案に対して相手の意向を尋ねる [物質名詞・否定疑問文]</p> <p>Lesson 1 5 数量について述べる [普通名詞・物質名詞の数量]</p> <p>Lesson 1 6 能力・勧告・義務を示す [助動詞]</p> <p>Lesson 1 7 人や物の存在を示す [There+be 動詞]</p> <p>Lesson 1 8 頻度、時間や程度について述べる [how+形容詞]</p>
2 学期	<p>Lesson 1 9 場所や時について詳しく述べる [前置詞句]</p> <p>Lesson 2 0 理由を聞いたり、答えたりする [SVOO・不定詞]</p> <p>[BOOK2]</p> <p>Lesson 1 状況を詳しく説明する [SVC・SVOC・未来進行形]</p> <p>Lesson 2 感動を伝えたり、理由や条件を示したりする [感嘆文・副詞節]</p> <p>Lesson 3 2つのものを比べる [比較]</p>
3 学期	<p>Lesson 4 3つ以上のものを比べて順位について述べる [最上級]</p> <p>Lesson 5 人や物について詳しく描写する [関係詞]</p> <p>Lesson 6 言動・希望について伝聞する [名詞節・不定詞]</p>
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	グローバル選抜探究	英語	英語(イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ループ・変数・条件分岐・関数などの基本的なコーディング概念を学ぶ。LC を通して対話や協働で理解を深める。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。</p> <p>楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。調理手順を理解することができる。また、簡単な調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 1 コードの取り出し方と検索方法 (コーディングと MEE) Unit 2 シーケンス概念 (チャットコマンドのコーディング) 楽器を活用した学習① (音楽の知識) 簡単な日常食の作製 (簡単な朝食作り)
2 学期	Unit 3 ループを使用したコードの繰り返しを避ける方法 (ループのコード) Unit 4 デバッグを学んでのトラブルシューティング (変数の作成) Unit 5 プログラムへの意思決定を追加 (If ステートメント) 英語の楽曲 (英語の単語や楽曲の背景知識) 簡単な日常食の作製 (エコクッキング～材料を無駄なく使う工夫)
3 学期	Unit 6 プログラミングでの関数を使用するタイミング (関数の概念) 楽器を活用した学習② (音楽の特徴や背景知識) 簡単な日常食の作製 (小麦粉を使った世界の菓子作り)
評価方法	
課題、授業への取り組み姿勢や製作品 (30%) により評価を行う。	
備考	
ループリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学 2 年	未来探究	英語	英語	7
教科書・教材				
『NEW CROWN 2』三省堂 『新中学問題集 標準編 中学 2 年』教育開発出版 『トモリンクス デキタス』株式会社コニカミノルタ				

授業のねらい (年間指導目標)

週 7 時間のうち、4 時間は TT(ティームティーチング)で音読活動と英語でのやりとりに取り組み、英語の音声に慣れ親しみながら語彙・語法・文法を習得させる。人称、時制による動詞の変化を学習し、既習の動詞を使った文を聞いたり読んだりして理解することができるようにする。3 時間は『NEW CROWN』の進度に合わせて『新中学問題集』を用い、学習した文法・表現を含む文に習熟させる。また、授業で学習した内容を『デキタス』を用いて演習し、各自に合ったペースで学習に取り組むことができるようにする。LC やアクティビティを通じて、対話や協働で理解を深め、登場した表現を使えるようにする。

授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	1 年時の既習事項を読み、書き、聞き、話して復習する。時制を適切に変化させて表現し、時制に注意しながら必要な情報を聞き取ることができる。(Lesson 1 Meet New Friends)
	接続詞を使った文章を理解することができる。(Lesson 2 Fun with Books)
	不定詞の 3 つの用法を理解し、文章を作ることができる。スピーチ原稿やインタビュー記事を読み、書き手が伝えたいことを理解することができる。(Lesson 3 My Dream)
2 学期	There is/are ~や動名詞を用いた表現を作ることができる。また、簡単なレポートを作ることができる。(Lesson 4 Safe Clean Water)
	第 4 文型、第 5 文型を用いた文章を理解することができる。(Lesson 5 Visiting Australia)
	比較、助動詞を用いた文章を理解することができる。(Lesson 6 Friends from Singapore)
3 学期	現在完了[経験]を用いた文章を理解することができる。英語で話し合うことができる。(Lesson 7 Gifts from China)
	現在完了[完了・継続]を用いた文章を理解することができる。(Lesson 8 Rakugo Goes Overseas)

評価方法

定期考査(70%)、小テスト・課題・授業での取り組みおよびその姿勢(30%)により評価する。

備考

ルーブリックによる評価も含む。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	グローバル選抜探究	英語	英語	9
教科書・教材				
『PROGRESS IN ENGLISH 21 REVISED BOOK2』 株式会社エデック				
『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book 2 WORK BOOK』 株式会社エデック				
『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book 2 音声アプリ』 株式会社エデック				
『トモリンクス デキタス』 株式会社コニカミノルタ				
『NEW CROWN 3』 株式会社三省堂				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>週7時間は『PROGRESS IN ENGLISH』を用いて、授業を行う。日常生活について、様々な場面における会話から心情や要点を理解できるようにする。また、アクティビティを通じて、登場した表現を使えるようにする。家庭では『音声アプリ』や『トモリンクス デキタス』を使い、音読の量を増やしながら、既習事項の定着を図るとともに、個別最適化を目指す。LC やアクティビティを通じて、対話や協働で理解を深め、登場した表現を使えるようにする。</p> <p>さらに週2時間はプログラミング・音楽・家庭のイマージョン教育を行う(※イマージョン教育のシラバスを参照)。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Lesson 2 感動を伝えたり、理由や条件を示したりする[感嘆文・副詞節] Lesson 3 2つのものを比べる[比較] Lesson 4 3つ以上のものを比べて順位について述べる [最上級] Lesson 5 人や物について詳しく描写する[関係詞] Lesson 6 言動・希望について伝聞する[名詞節・不定詞] Lesson 7 完了・経験・継続を表す[現在完了]
2 学期	Lesson 8 過去までの経験や継続状態を述べる [過去完了・過去完了進行形] Lesson 9 誰かにされたことについて述べる [受動態] Lesson 1 0 受動態や比較級の慣用表現を使う[受動態・比較級] Lesson 1 1 不定詞の慣用表現を使う [不定詞] Lesson 1 2 名詞の役割をする不定詞について理解する[不定詞] Lesson 1 3 名詞の役割をする ing 形について理解する [動名詞]
3 学期	Lesson 1 4 動名詞の他の用法や oneself の使い方を理解する[動名詞・再帰代名詞] 名詞を説明する分詞について理解する[現在分詞・過去分詞] 「～の仕方」などの表現を理解する[疑問詞+不定詞]
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当てる。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	グローバル選抜探究	英語	英語(イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ネストされた条件分岐・リファクタリング・アルゴリズム入門・関数などの発展的なコーディング概念を学ぶ。LC を通して対話や協働で理解を深める。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。</p> <p>楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。調理手順を理解することができる。また、簡単な調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 13 Makecode Builder の使用 (ビルダーの軌跡とマークを学ぶ) Unit 14 ネストされたループとネストされた条件分岐 (条件分岐を学ぶ) 楽器を活用した学習① (音楽の知識) 簡単な日常食の作製 (ワンプレート昼食作り)
2 学期	Unit 15 立体の作成 (数学とコーディングの関係を学ぶ) Unit 16 リファクタリング (リファクタリングの理解) Unit 17 配列の概要 (プログラミングにおける配列の概念を理解) Unit 18 アルゴリズム入門 (アルゴリズムの基本的なタイプの理解) 英語の楽曲 (英語の単語や楽曲の背景知識) 簡単な日常食の作製 (季節のおやつ作り)
3 学期	Unit 19 基本的なソートおよび検索アルゴリズム Unit 20 高度なデバッグ (大規模なプログラムのエラー識別) 楽器を活用した学習② (音楽の特徴や背景知識) 簡単な日常食の作製 (世界のエスニック料理)
評価方法	
課題、授業への取り組み姿勢や製作品 (30%) により評価を行う。	
備考	
ループリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	未来探究	英語	英語・英語 TT	7
教科書・教材				
『NEW CROWN 3』三省堂 『新中学問題集 標準編 中学3年』教育開発出版 『速読英単語 中学編』Z会 『トモリンクス デキタス』株式会社コニカミノルタ				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>週7時間のうち、4時間は『NEW CROWN』を使って、TT(ティームティーチング)で音読活動を徹底し、英語の音声に慣れ親しみながら語彙・語法・文法を身につけることができるようにする。また3時間は『NEW CROWN 3』の進度に合わせて、『新中学問題集』を用い、取り扱う文法・表現を使った文を、書くことや話すことができるようにする。LC やアクティビティを通じて、対話や協働で理解を深め、登場した表現を使えるようにする。</p> <p>授業のみならず、演習として『トモリンクス デキタス』を用いて、個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>2年時で学んだ現在完了形について復習するとともに、現在完了進行形を用いた文章を理解することができる。</p> <p>現在完了進行形 (Lesson 1 Join Us、Lesson 2 The Power of Music)</p> <p>受動態や分詞を用いた文章を理解することができる。(Lesson 3 Cranes of Peace、Lesson 4 Bollywood Movies)</p>
2 学期	<p>関係代名詞を用いた文章を理解することができる。(Lesson 5 Translating Culture、Lesson 6 Being Fair)</p> <p>仮定法過去を用いた文章を理解することができる (Lesson 7 Design for Change)</p>
3 学期	間接疑問を用いた文章を理解することができる。(Lesson 8 For Our Future)
評価方法	
定期考査(70%)、小テスト・課題・授業での取り組みおよびその姿勢(30%)により評価する。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 1 年	グローバル選抜 探究コース	英語	英語コミュニケー ション I	5

教科書・教材

『CROWN English Communication I』三省堂『CROWN English Communication I サブノート』三省堂『スタディサプリ English』株式会社リクルート『速読英単語 入門編』Z会

授業のねらい (年間指導目標)

週 3 時間は『CROWN』を用いて授業を行う。うち、2 時間はネイティブによる授業、1 時間はネイティブによる授業または TT(チームティーチング)とする。日常的、社会的な話題について、多くの支援を活用しながら必要な情報を読み取り、概要を捉えることができるようにする。また英語で聞いたり読んだりしたことを基に、考えや気持ちなどを伝え合うことができるようにする。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養い、テキストの内容理解も深める。さらに週 2 時間は音楽・家庭・プログラミングのイマージョン教育を行う(※イマージョン教育・プログラミングのシラバスを参照)。習熟度別クラスとする。『スタディサプリ English』(Level 4)に適宜取り組み、最終的には自習できるよう指導する。

CROWN による授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	Lesson 1 Exploring Onomatopoeia オノマトペについて (不定詞・動名詞) Lesson 2 Swimming against Adversity 困難の経験について(現在完了・現在完了進行形・助動詞) Lesson 3 Hatching the Egg of Hope 芸術の持つ力について (関係代名詞・分詞の形容詞的用法・受動態) Lesson 4 Turing Off the Tap on Plastic プラスチックごみの減量法について (過去完了・過去完了進行形・関係代名詞 what・SVO(O=疑問詞節/if 節))
2 学期	Lesson 5 Roots & Shoots 動物・人・環境について (分詞構文・形式主語・同格) Lesson 6 Chat with Chatbot 生成 AI について (関係副詞・SVOC(C=原形不定詞・分詞)) Lesson 7 The Papalagi Never Have Enough Time 時計と現代文明について (seem to; it seems that・S is C(C=that 節)・SVC(C=分詞)) Lesson 8 Not So Long Ago 平和について (仮定法過去・SVO1O2(O2=疑問詞節)・付帯状況の with)
3 学期	Lesson 9 Our Lost Friend 文化財の所有権 (受動態の完了形・助動詞+be+過去分詞・関係代名詞の非制限用法) Lesson 10 Good Ol' Charlie Brown 人生の本当の成功について (仮定法過去完了・過去の習慣・形式目的語)

評価方法

定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。

備考

ルーブリックによる評価も含む。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜 探究	英語	英語コミュニケーションI (イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ネストされた条件分岐・リファクタリング・アルゴリズム入門・関数などの発展的なコーディング概念を学ぶ。LC を通して対話や協働で理解を深める。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。</p> <p>楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。</p> <p>調理手順を理解することができる。また、簡単な調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 1 コードの取り出し方と検索方法 (コーディングと MEE) Unit 2 シーケンス概念 (チャットコマンドのコーディング) 英語の歌にある背景や歌詞の意味 器具の名称・扱い方・簡単な調理でできるおやつ作り
2 学期	Unit 3 ループを使用したコードの繰り返しを避ける方法 (ループのコード) Unit 4 デバッグを学んでのトラブルシューティング (変数の作成) Unit 5 プログラムへの意思決定を追加 (If ステートメント) Unit 6 プログラミングでの関数を使用するタイミング (関数の概念) 日本の伝統文化である箏の背景知識と、基礎奏法 日常食と調理の基礎 1
3 学期	Unit 7 アイテムとプレイヤーの配置方法 (空間座標の概念) Unit 8 ネストされたループ (ループの概念) ギターの背景知識と基本奏法 日常食と調理の基礎 2
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ループリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜コース	英語	英語コミュニケーションI	4
教科書・教材				
『CROWN English Communication I』三省堂『CROWN English Communication I サブノート』三省堂『スタディサプリ English』株式会社リクルート『Target1400』旺文社				

授業のねらい (年間指導目標)	
2時間はネイティブによる授業、2時間はTT(チームティーチング)とする。日常的、社会的な話題について、多くの支援を活用しながら必要な情報を読み取り、概要を捉えることができるようにする。また英語で聞いたり読んだりしたことを基に、考えや気持ちなどを伝え合うことができるようにする。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養い、テキストの内容理解も深める。スタディサプリ English に適宜取り組み、最終的には自習できるように指導する。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>Lesson 1 Exploring Onomatopoeia オノマトペについて (不定詞・動名詞)</p> <p>Lesson 2 Swimming against Adversity 困難の経験について(現在完了・現在完了進行形・助動詞)</p> <p>Lesson 3 Hatching the Egg of Hope 芸術の持つ力について (関係代名詞・分詞の形容詞的用法・受動態)</p> <p>Lesson 4 Turing Off the Tap on Plastic プラスチックごみの減量法について (過去完了・過去完了進行形・関係代名詞 what・SVO(O=疑問詞節/if 節))</p>
2 学期	<p>Lesson 5 Roots & Shoots 動物・人・環境について (分詞構文・形式主語・同格)</p> <p>Lesson 6 Chat with Chatbot 生成 AI について (関係副詞・SVOC(C=原形不定詞・分詞))</p> <p>Lesson 7 The Papalagi Never Have Enough Time 時計と現代文明について (seem to; it seems that・S is C(C=that 節)・SVC(C=分詞))</p> <p>Lesson 8 Not So Long Ago 平和について (仮定法過去・SVO1O2(O2=疑問詞節)・付帯状況の with)</p>
3 学期	<p>Lesson 9 Our Lost Friend 文化財の所有権 (受動態の完了形・助動詞+be+過去分詞・関係代名詞の非制限用法)</p> <p>Lesson 10 Good Ol' Charlie Brown 人生の本当の成功について (仮定法過去完了・過去の習慣・形式目的語)</p>
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究コース	英語	英語コミュニケーション I	3
教科書・教材				
『My Way English Communication I』三省堂 『Target1200』旺文社 『スタディサプリ English』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
1 時間は日本人教員、2 時間は TT(ティームティーチング)とし、基本的な4技能のスキルと読解のための基本的な文法を身につけることを目指す。授業ではテキストの音読を徹底して行う。授業では予め示しておいた重要なポイントについて小テストを行う。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養い、テキストの内容理解も深める。スタディサプリ English の課題にも積極的に取り組むよう指導する。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Lesson 1 “Fonts and Communication” 「さまざまなフォント」について (現在形・過去形・進行形・SVO(O=that 節)) Lesson 2 “Beavers: Eco-Friendly Animals” 「環境」について (受動態・比較) Lesson 3 “Alternative Foods” 「代替食品」について (動名詞・不定詞) Lesson 4 “Messages from <i>Winnie-the-Pooh</i> ” 「本に込められたメッセージ」について (現在完了形・現在完了進行形・過去完了形)
2 学期	Lesson 5 “Endangered Languages” 「消滅の危機にある言語」について (関係代名詞) Lesson 6 “Musicians of the Metro” 「地下鉄ミュージシャン」について (関係副詞) Lesson 7 “A Wheelchair Traveler” 「車いすの旅行者」について (分詞の形容詞的用法・分詞構文・形式主語) Lesson 8 “The Progress of Keys” 「鍵の進化」について (条件節・仮定法過去)
3 学期	Lesson 9 “Kadono Eiko and the Power of Imagination” 「想像力」について (SVOO・SVOC) Lesson 10 “Toward a Sustainable World” 「SDGs」について
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜 探究コース	英語	論理・表現 I	2
教科書・教材				
『CROWN Logic and Expression I』三省堂 『ENGLISH GRAMMAR IN USE』CAMBRIDGE 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>『ENGLISH GRAMMAR IN USE(以下 EGIU)』を用い、英文法を英語のニュアンス、使用する場面とともに理解させる。また『CROWN』を用いて、英会話・スピーチ・プレゼンテーション・ライティング・ディスカッションに取り組みさせる。またそのスキルを活かして、GTEC 等でも対応できる力を養う。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。</p> <p>授業内ではアウトプット（表現を使っていくこと）をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、個別最適化学習も進めていく。習熟度別クラスとする。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	CROWN: Lesson 1 『人生、生き方』スピーチの基本 EGIU: Unit 1～6 Present and past (現在形と過去形)
	CROWN: Lesson 1 『人生、生き方』スピーチの実践 EGIU: Unit 7～18 Present perfect and past (現在完了形と過去形)
2 学期	CROWN: Lesson 3 『日本文化』ライティングの基本 EGIU: Unit 19～25 Future (未来の表現)
	CROWN: Lesson 3 『日本文化』ライティングの基本 EGIU: Unit 26～37 Modals (法助動詞)
3 学期	CROWN: Lesson 6 『テクノロジー・発明』プレゼンテーションの基本 EGIU: Unit 38～41 if and wish (仮定法) / Unit 42～46 Passive(受動態)
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	英語	論理・表現 I	2
教科書・教材				
『My Way Logic and Expression I』三省堂 『英文法基礎 10 題ドリル』駿台文庫 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>授業内で音読はもちろんのこと、アクティビティ・さまざまなジャンルの問題などを通じて、自分の考えを書くことや、発表することができるようにする。またそのスキルを活かして、GTEC 等でも対応できる力を養う。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。</p> <p>授業内には、アウトプット（表現を使っていくこと）をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	CROWN: Lesson 1 “Let’s talk about Ourselves” (現在形・過去形・進行形) Lesson 2 “School Life” (受動態・比較) 10 題ドリル: 第 1 講～第 5 講
	CROWN: Lesson 3 “The Arts” (未来表現・基本時制まとめ) Lesson 4 “Food and Culture” (現在完了形・現在完了進行形) 10 題ドリル: 第 6 講～第 10 講
2 学期	CROWN: Lesson 5 “Welcome to Our Town” (助動詞・受動態) Lesson 6 “Traveling Abroad” (不定詞) 10 題ドリル: 第 11 講～第 15 講
	CROWN: Lesson 7 “Sports” (動名詞・分詞) Lesson 8 “Future Mobility” (比較) 10 題ドリル: 第 16 講～第 20 講
3 学期	CROWN: Lesson 9 “Take Care” (関係代名詞) Lesson 10 “Technology Changes Our Lives” (関係副詞・仮定法) 10 題ドリル: 第 21 講～第 25 講
評価方法	
定期考査、小テスト、課題プリント、発表、授業時の取り組み及びその姿勢などにより評価する。 (定期考査より 70%・平常点 30%)	
備 考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究	英語	論理・表現 I	2
教科書・教材				
『My Way Logic and Expression I』三省堂 『My Way Logic and Expression I ワークブック』三省堂 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>音読活動を徹底し、授業内で取り扱った英文が自分のものになるようにさせるだけでなく、様々なアクティビティや英作練習を通じて、自分の考えを書いたり、発表したりできるようにさせる。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Lesson 1 “Let’s talk about Ourselves” (現在形・過去形・進行形) Lesson 2 “School Life” (受動態・比較)
	Lesson 3 “The Arts” (未来表現・基本時制まとめ) Lesson 4 “Food and Culture” (現在完了形・現在完了進行形)
2 学期	Lesson 5 “Welcome to Our Town” (助動詞・受動態) Lesson 6 “Traveling Abroad” (不定詞)
	Lesson 7 “Sports” (動名詞・分詞) Lesson 8 “Future Mobility” (比較)
3 学期	Lesson 9 “Take Care” (関係代名詞) Lesson 10 “Technology Changes Our Lives” (関係副詞・仮定法)
評価方法	
定期考査、小テスト、課題プリント、発表、授業時の取り組み及びその姿勢などにより評価する。 (定期考査より 70%・平常点 30%)	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜 探究コース	英語	英語コミュニケー ション I	6

教科書・教材

『CROWN English Communication II』三省堂 『CROWN English Communication II サブノート』三省堂 『スタディサプリ English』株式会社リクルート 『速読英単語 入門編』Z会

授業のねらい (年間指導目標)

週4時間は『CROWN』を用いて授業を行う。うち、3時間はネイティブによる授業、1時間はネイティブによる授業またはTT(ティームティーチング)とする。日常的、社会的な話題について、必要な情報を読み取り、詳細を捉えることができるようにする。また英語で聞いたり読んだりしたことを基に、考えや気持ちなどを伝え合うことができるようにする。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養い、テキストの内容理解も深める。習熟度クラスとする。さらに週2時間は音楽・家庭・プログラミングのイマージョン教育を行う(※イマージョン教育・プログラミングのシラバスを参照)。『スタディサプリ English』の「リスニング・プラス」(Level 5 以上)・「共通テスト対策講座」に適宜取り組み、最終的には自習できるよう指導する。

CROWN による授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	Lesson 1 Lost in Translation 言語・異文化 (不定詞・動名詞)
	Lesson 2 One Book Can Empower a Child 教育・国際貢献 (不定詞・動名詞)
	Lesson 3 Accessible Japan 障害者のために活動するエッセイ (分詞構文)
	Lesson 4 Crossing the Border 「国境なき医師団」での体験 (関係副詞・不定詞+前置詞)
2 学期	Lesson 5 Mental Toughness スポーツにおけるメンタルタフネス (前置詞+関係代名詞・無生物主語)
	Lesson 6 Walking in Gaudi's Footsteps サグラダ・ファミリアの主任彫刻家 (助動詞・whether 節)
	Lesson 7 Why Biomimicry? 科学技術・環境 (仮定法)
	Lesson 8 Invisible No Longer 平和 (be to 不定詞・結果を表す不定詞)
3 学期	Lesson 9 Nudges 人々の手助けをする仕組み (未来進行形・未来完了形・受け身の進行形)
	Lesson 10 Are We Alone? 地球外生命体の探索 (独立分詞構文・倒置)

評価方法

定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。

備考

ルーブリックによる評価も含む。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜 探究	英語	英語コミュニケーションI (イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ネストされた条件分岐・リファクタリング・アルゴリズム入門・関数などの発展的なコーディング概念を学ぶ。LC を通して対話や協働で理解を深める。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。</p> <p>楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。</p> <p>調理手順を理解することができる。また、簡単な調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 7 アイテムとプレイヤーの配置方法 (空間座標の概念) Unit 8 ネストされたループ (ループの概念) 楽器を活用した学習① (音楽の知識) 簡単な日常食の作製 (ワンプレート朝食作り)
2 学期	Unit 9 文字列内の特定の単語の検索方法 (文字列の連結と分割) Unit 10 条件文とループ関数 (パラメータ関数の概念) Unit 11 条件分岐とループ関数 (デバッグプロセス) 英語の楽曲 (英語の単語や楽曲の背景知識) 簡単な日常食の作製 (幼児のおやつ作り)
3 学期	Unit 12 複数のパラメータを持つ関数 (パラメータを持つ関数を理解) 楽器を活用した学習② (音楽の特徴や背景知識) 簡単な日常食の作製 (世界の小麦粉料理)
評価方法	
課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	

備考
ループリックによる評価も含む。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜コース	英語	英語コミュニケーションⅡ	6
教科書・教材				
『Crown English Communication Ⅱ』三省堂 『Target 1400』旺文社 『スタディサプリ English』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
4時間はネイティブによる授業、2時間はTT(ティームティーチング)とし、基本的な4技能のスキルと読解のための文法を身につけさせる。日常的、社会的な話題について、必要な情報を読み取り、概要を捉えることができるようにする。英語で聞いたり読んだりしたことを基に、考えや気持ちなどを伝え合うことができるようにもする。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養い、テキストの内容理解も深める。また、スタディサプリ English で個別学習に取り組みさせる。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Lesson 1 Lost in Translation 言語・異文化について (不定詞・動名詞) Lesson 2 One Book Can Empower a Child 教育・国際貢献について(不定詞・動名詞) Lesson 3 Accessible Japan 障害者のために活動するエッセイ (分詞構文) Lesson 4 Crossing the Border 「国境なき医師団」での体験について (関係副詞・不定詞+前置詞)
2 学期	Lesson 5 Mental Toughness スポーツにおけるメンタルタフネスについて(前置詞+関係代名詞・無生物主語) Lesson 6 Walking in Gaudi's Footsteps サグラダ・ファミリアの主任彫刻家について (助動詞・whether 節) Lesson 7 Why Biomimicry? 科学技術・環境について (仮定法) Lesson 8 Invisible No Longer 平和について (be to 不定詞・結果を表す不定詞)
3 学期	Lesson 9 Nudges 人々の手助けをする仕組みについて (未来進行形・未来完了形・受け身の進行形) Lesson 10 Are We Alone? 地球外生命体の探索について (独立分詞構文・倒置)
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究コース	英語	英語コミュニケーションⅡ	6

教科書・教材

『Big Dipper English CommunicationⅡ』 数研出版 『Target1200』 旺文社
『スタディサプリ English』 株式会社リクルート

授業のねらい (年間指導目標)

4時間はネイティブによる授業、2時間はTT(ティームティーチング)とし、基本的な4技能のスキルと読解のための基本的な文法を身につけることを目指す。授業では1年生で学習した基本的な4技能のスキルと読解のための文法の定着を目指す。授業ではテキストの音読を徹底して行うとともに、1年生と同じ要領で毎時間小テストを実施する。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養い、テキストの内容理解も深める。また、テキストの内容に沿った英語でのプレゼンを毎学期行い、聞く・書く・話す力を養う。スタディサプリ Englishの課題にも積極的に取り組むよう指導する。

授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	Lesson 1 海外の学校生活について (受動態・to 不定詞)
	Lesson 2 「だまし絵」と錯視について (関係代名詞・完了形)
	Lesson 3 睡眠について (仮定法・関係詞)
	Lesson 4 国際語としての英語の多様性について (名詞節を使った SVOO)
2 学期	Lesson 5 ユニバーサルデザインについて (分詞構文・非制限用法の関係副詞)
	Lesson 6 81 歳にしてゲームアプリを開発した女性について (SVC と SVOC・助動詞)
	Lesson 7 動物をヒントに開発された機械について (動名詞・to have p.p.)
	Lesson 8 保存食の魅力と可能性について (仮定法)
3 学期	Lesson 9 シェアリングエコノミーについて (未来完了・無生物主語)
	Lesson 10 世界の砂不足について (複合関係代名詞・倒置)

評価方法

定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。

備考

ルーブリックによる評価も含む。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜 探究コース	英語	論理・表現Ⅱ	2
教科書・教材				
『CROWN Logic and Expression II』三省堂 『ENGLISH GRAMMAR IN USE』CAMBRIDGE 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
『ENGLISH GRAMMAR IN USE(以下 EGIU)』を用い、英文法を英語のニュアンス、使用する場面とともに理解させる。また『CROWN』を用いて、スピーチ・プレゼンテーション・パラグラフライティング・ディスカッションに取り組みさせる。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。習熟度別クラスとする。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	CROWN: Lesson 2 『日本のポップカルチャーについて』感情を表す表現 EGIU: Unit 19~25 Future (未来の表現)
	CROWN: Lesson 3 『メリット・デメリットについて』日本文化・異文化理解 EGIU: Unit 47~48 Reported speech (話法) Unit 49~52 Questions and auxiliary verbs (疑問文)
2 学期	CROWN: Lesson 5 『フードロス』社会問題 (例証/分類・列挙) EGIU: Unit 64~68 -ing and to...(ing と to~) Unit 69~71 Nouns (名詞)
	CROWN: Lesson 7 『自国の料理について』料理・食文化 (方法・様態/数量表現) EGIU: Unit 72~81 Articles and nouns (冠詞と名詞)
3 学期	CROWN: Lesson 10 『留学してみたい国について』教育 (比較・対象/譲歩) EGIU: Unit 82~91 Pronouns and determiners (代名詞と限定詞)
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	全コース	英語	探究演習・総合英語 I	2
教科書・教材				
『Wonderland 1』 いいずな書店				
『Wonderland 2』 いいずな書店				

授業のねらい (年間指導目標)	
全時間 TT(ティームティーチング)により授業を行う。入試における長文読解に向けて、パラグラフ構成などを意識しながら、必要な情報を読み取れるようにする。また、4技能の伸張に全体的に取り組ませる。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。習熟度別クラスとする。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 1～3 「物語・生物・起源」に関する文章 (文型・時制・完了形)
	Lesson 4～6 「寓話・起源・社会」に関する文章 (完了形・助動詞・受動態)
2 学期	Lesson 7～9 「社会・伝記・地理」に関する文章 (不定詞・動名詞)
	Lesson 10～12 「生物・歴史・環境」に関する文章 (分詞・比較・関係代名詞)
3 学期	Lesson 13～15 「小話・社会・物語」に関する文章 (関係代名詞・接続詞・代名詞)
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	グローバル選抜 探究コース	英語	英語コミュニケーションⅢ	4
教科書・教材				
『CROWN English Communication Ⅲ』 桐原書店 『速読英単語 入門編』 Z会 『スタディサプリ English』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
週4時間は『CROWN』を用いて授業を行う。うち、2時間はネイティブによる授業、2時間はTT(ティームティーチング)とする。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養い、テキストの内容理解も深める。また、スタディサプリ English で個別学習に取り組みせる。適宜長文読解にも取り組む。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Lesson 1 How Language Shapes the Way We Think 「言語と思考との関係」に関する文章 Lesson 2 Weak Robots 「ロボット」に関する文章 Lesson 3 Fake News Is Everywhere: Beware! 「偽情報」に関する文章 Lesson 4 Beyond What Nature Intends 「最先端義足」に関する文章
2 学期	Lesson 5 How to Beat Procrastination 「先延ばし癖」に関する文章 Lesson 6 Today's Treasure, Tomorrow's Trash 「環境にやさしい消費行動」に関する文章 Lesson 7 Only a Camera Lens Between Us 「生き方」に関する文章 Lesson 8 Super Clone Cultural Properties 「美術品の補習と修復」に関する文章
3 学期	Lesson 9 Culture in the Animal Kingdom 「動物の文化」に関する文章
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	グローバル選抜 探究	英語	英語コミュニケーション I (イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)

TT(ティームティーチング)により授業を行う。

プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ネストされた条件分岐・リファクタリング・アルゴリズム入門・関数などの発展的なコーディング概念を学ぶ。LC を通して対話や協働で理解を深める。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。

楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。調理手順を理解することができる。また、簡単な調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。

PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	Unit 13 Makecode Builder の使用 (ビルダーの軌跡とマークを学ぶ) Unit 14 ネストされたループとネストされた条件分岐 (条件分岐を学ぶ) 楽器を活用した学習① (音楽の知識) 簡単な日常食の作製 (ワンプレート昼食作り)
2 学期	Unit 15 立体の作成 (数学とコーディングの関係を学ぶ) Unit 16 リファクタリング (リファクタリングの理解) Unit 17 配列の概要 (プログラミングにおける配列の概念を理解) Unit 18 アルゴリズム入門 (アルゴリズムの基本的なタイプの理解) 英語の楽曲 (英語の単語や楽曲の背景知識) 簡単な日常食の作製 (季節のおやつ作り)
3 学期	Unit 19 基本的なソートおよび検索アルゴリズム Unit 20 高度なデバッグ (大規模なプログラムのエラー識別) 楽器を活用した学習② (音楽の特徴や背景知識) 簡単な日常食の作製 (世界のエスニック料理)

評価方法

課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。

備考

ルーブリックによる評価も含む。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜コース	英語	英語コミュニケーションⅢ	4
教科書・教材				
『CROWN English Communication Ⅲ』 桐原書店 『Target 1900』 旺文社 『スタディサプリ English』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>基本的な4技能のスキルと読解のための文法を身につけさせる。3時間はネイティブによる授業、1時間はTT(ティームティーチング)とする。LCやアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養い、テキストの内容理解も深める。また、スタディサプリ Englishで個別学習に取り組みさせる。適宜長文読解にも取り組む。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>Lesson 1 How Language Shapes the Way We Think 「言語と思考との関係」に関する文章</p> <p>Lesson 2 Weak Robots 「ロボット」に関する文章</p> <p>Lesson 3 Fake News Is Everywhere: Beware! 「偽情報」に関する文章</p> <p>Lesson 4 Beyond What Nature Intends 「最先端義足」に関する文章</p>
2 学期	<p>Lesson 5 How to Beat Procrastination 「先延ばし癖」に関する文章</p> <p>Lesson 6 Today's Treasure, Tomorrow's Trash 「環境にやさしい消費行動」に関する文章</p> <p>Lesson 7 Only a Camera Lens Between Us 「生き方」に関する文章</p> <p>Lesson 8 Super Clone Cultural Properties 「美術品の補習と修復」に関する文章</p>
3 学期	<p>Lesson 9 Culture in the Animal Kingdom 「動物の文化」に関する文章</p>
評価方法	
<p>定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。</p>	
備考	
<p>ルーブリックによる評価も含む。</p>	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	英語	英語コミュニケーションⅢ	5
教科書・教材				
『BIG DIPPER English CommunicationⅢ』 数研出版				
『Target1200』 旺文社				
『スタディサプリ English』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
1 時間は日本人教員、2 時間はネイティブによる授業、2 時間は TT(ティームティーチング)とし、音読を中心にしつつ、各題材について読み、聞き、話し、書く活動をバランス良く行う。指示語に留意し、説明文、論説文ではさらに論理展開に慣れさせる。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養い、テキストの内容理解も深める。毎週単語テストを通して、一度に覚えられる語数を確認しながら、語彙力を増強する。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Section 1 : Lesson 1~7 パラグラフの構成やつなぎ語を意識して 200 語程度の英文を読み、意見を伝え合う。
	Section 1 : Lesson 8~14 パラグラフの構成やつなぎ語を意識して 200 語程度の英文を読み、意見を伝え合う。
2 学期	Section 2 : Lesson 15~20 文章の構造を意識して 350~400 語程度の英文を読み、様々な発信活動に取り組む。
	Section 3 : Lesson 21~23 450 語を超える長さの英文や様々な形式の情報をもとにして、考えを深める。
3 学期	Section 3 : Lesson 24 450 語を超える長さの英文や様々な形式の情報をもとにして、考えを深める。
評価方法	
定期考査(70%)、小テスト・課題・授業での取り組みおよびその姿勢(30%)により評価する。	
備考	
平常点にはルーブリック評価も含める。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	グローバル選抜 探究コース	英語	論理・表現Ⅱ	3
教科書・教材				
『CROWN Logic and Expression II』三省堂 『ENGLISH GRAMMAR IN USE』CAMBRIDGE 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
TT(ティームティーチング)により授業を行う。 『ENGLISH GRAMMAR IN USE(以下 EGIU)』を用い、英文法を英語のニュアンス、使用する場面とともに理解させる。また『CROWN』を用いて、スピーチ・プレゼンテーション・パラグラフライティング・ディスカッションに取り組みさせる。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	CROWN: Lesson 1 『世界の言語について』 賛成・反対を表す表現 EGIU: Unit 91 Determiners (限定詞) Unit 72~75 Articles and nouns (冠詞と名詞)
	CROWN: Lesson 2 『消費傾向について』 例証の表現 EGIU: Unit 76~81 Articles and nouns (冠詞と名詞)
2 学期	CROWN: Lesson 3 『宇宙探査』 時間的順序の表現 EGIU: Unit 121~128 Prepositions (前置詞)
	CROWN: Lesson 6 『創造的思考』 比較・対照を表す表現 EGIU: Unit 129~136 Prepositions (前置詞)
3 学期	CROWN: Lesson 8 『幸福について』 因果関係の表現
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	英語	論理・表現Ⅱ	3
教科書・教材				
『BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ』数研出版 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>2時間はネイティブ、1時間はTT(ティームティーチング)の授業とする。</p> <p>授業内で音読はもちろんのこと、アクティビティ・さまざまなジャンルのテーマなどを通じて、自分の意見や主張を適切に述べるためのスキルを身につけることができるようにする。また、そのスキルを活かして、GTEC・英検などにも対応できる力を養う。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。</p> <p>授業内には、アウトプット(表現を使っていくこと)をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、表現力や文法等における個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Part 1 Lesson 1-Lesson 5 be 動詞、未来形、完了形、過去形、受動態、パラグラフの型の意識 存在、未来の予定・計画、経験や継続している活動、過去の状態や習慣・推量、文化について表現できるようになる
	Part 1 Lesson 6-Lesson 10 使役動詞、不定詞、動名詞、分詞、パラグラフの展開(時間的順序、例証) 活動への参加、過去の活動や経歴・状況、自分の好きな活動・持ち物、野外での活動・気晴らしについて表現できるようになる
2 学期	Part 1 Lesson 11-Lesson 16 比較、関係詞、仮定法、時制の一致、パラグラフの展開(比較・対照、原因と結果)、エッセイライティング 様々な最上級の事物、将来の仕事・家族、印象的な場所、自分の夢、願望、伝聞内容について表現することができる
	Part 2 Lesson 1-Lesson 6 インタビュー、ダイアログ、ディスカッション 好き嫌い、希望・欲求、賛成・反対、勧誘・招待、期待、計画・意図、提案・助言を述べるができる
3 学期	Part 2 Lesson 7-Lesson 8 サマリーライティング、ブログ、ダイアログ 程度・譲歩、依頼・要請を述べるができる
評価方法	
定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	英語	論理・表現Ⅱ	3
教科書・教材				
『BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ』 数研出版 『スタディサプリ』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>2時間はネイティブ、1時間はTT(ティームティーチング)の授業とする。</p> <p>授業内で音読はもちろんのこと、アクティビティ・さまざまなジャンルのテーマなどを通じて、自分の意見や主張を適切に述べるためのスキルを身につけることができるようにする。また、そのスキルを活かして、GTEC・英検などにも対応できる力を養う。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。</p> <p>授業内には、アウトプット(表現を使っていくこと)をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、表現力や文法等における個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Part 1 Lesson 1-Lesson 4 be 動詞、未来形、完了形、過去形、パラグラフの型の意識 存在、未来の予定・計画、経験や継続している活動、過去の状態や習慣・推量を表現できるようになる
	Part 1 Lesson 5-Lesson 8 受動態、使役動詞、不定詞、動名詞、パラグラフの展開(時間的順序、例証) 文化、活動への参加、過去の活動や経歴・状況、自分の好きな活動について表現できるようになる
2 学期	Part 1 Lesson 9-Lesson 12 分詞、比較、関係代名詞、仮定法、時制の一致、パラグラフの展開(比較・対照、原因) 自分の好きな持ち物、野外での活動・気晴らし、様々な最上級の事物、将来の仕事・家族について表現することができる
	Part 1 Lesson 13-Lesson 16 関係副詞、仮定法、時制の一致、エッセイライティング 印象的な場所、自分の夢、願望、伝聞内容について表現することができる
3 学期	Part 2 Lesson 1-Lesson 2 インタビュー、ダイアログ、ディスカッション 好き嫌い、希望・欲求を述べるができる
評価方法	
定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	全コース	英語	選択論理・表現Ⅱ	2
教科書・教材				
『基礎力養成コア表現トレーニング』（旺文社）				
『コア表現トレーニング上級編』（旺文社）				

授業のねらい（年間指導目標）	
ネイティブ教員による授業を行う。モデル文を使ってスピーキングとライティングの練習を行い、幅広い表現力を身につける。また、GTEC や英検などの検定試験に対応できる技能の養成を行う。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	基礎力 Unit 1～Unit 2 「イラストを描写する」「自分のことを述べる」
	基礎力 Unit 3～Unit 4 「質問に答えて応答を行う」「客観的な意見を述べる」
2 学期	基礎力 Unit 5 上級編 Unit 1～Unit 2 「情報を読み取る」「イラストを描写する」
	上級編 Unit 3～Unit 4 「自分のことを述べる」「質問に答えて応答を行う」
3 学期	上級編 Unit 5 「客観的な意見を述べる」「情報を読み取る」「イラストを描写する」
評価方法	
定期考査（70%）と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢（30%）により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	グローバル選抜 探究コース 選抜コース	英語	探究演習・総合英語Ⅱ	3
教科書・教材				
『UNITE STAGE 2』(数研出版)				

授業のねらい (年間指導目標)	
週3時間のうち、1時間は日本人教員、2時間はネイティブ教員による授業を行う。入試における長文読解に向けて、パラグラフ構成などを意識しながら、必要な情報を読み取れるようにする。また、4技能の伸張に全体的に取り組ませる。LC やアクティビティを通して対話や協働で理解を深めて英語での表現力を養う。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 1～3 「文化・医療・産業」に関する文章 (文型・時制・完了形)
	Lesson 4～7 「国際・歴史・テクノロジー」に関する文章 (助動詞・受動態・不定詞)
2 学期	Lesson 8～10 「心理・学問・農業」に関する文章 (動名詞・分詞・準動詞まとめ)
	Lesson 11～13 「観光・歴史・日常生活」に関する文章 (比較・関係詞)
3 学期	Lesson 14～15 「化学・学校生活」に関する文章 (仮定法)
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	